大型恒温槽 取扱説明書

九州工業大学 超小型衛星試験センター

目 次

項目	Page
1. 大型恒温槽仕様	 3 ~ 4
2. 冶工具	 5
3. 測定機器	 6 ~ 7
4. 試験前確認•点検	 8~9
5. 試験手順	 10~16
6. プログラム設定	 17~21
7. PID制御設定	 22~25
8. 設定温度の調整	 26
9. 参考資料	 27 ~ 28

1. 大型恒温槽仕様

No.	項目	仕 様
1	システム型式	Despatch LAC2-12-6, S/N180785
2	サイズ	作業空間:W60(57) × D61 × H91cm 外形:W91 × D79 × H133cm
3	棚数	最大17
4	耐荷重	50kg/棚、300kg/全棚
5	重量	164kg
6	回復温度	1分間ドア開放後、ドア閉じて(無負荷) 100℃:1分、200℃:6分、260℃:9分
7	制御温度	~+260°C
8	制御精度	100°C:±1°C、200°C:±2°C 260°C:±2.5°C(無負荷)
9	平均加熱速度	40~100°C:6°C/分、40~200°C:19°C/分 40~260°C:31°C/分(無負荷) *負荷時は、9. 参考資料の2項参照
10	送風量	600 cfm (Cubic Feet per Minute)
11	ヒータ容量	3. 6KW(240V、18. 5A)
12	コントローラー	Watlow 982



外観図

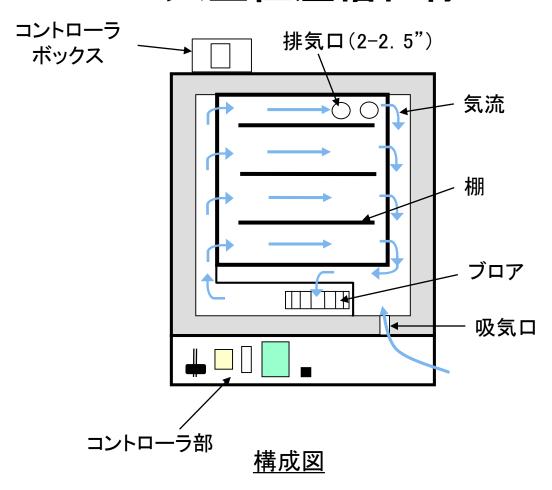


内部 図

排気口

棚

1. 大型恒温槽仕様



温度リミット設定



排気口開閉

下:Close

上:Open

RS232C

コネクタ



電源SW

クター・ボックス

コントローラ部

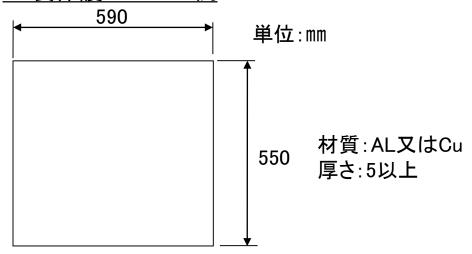
2. 治工具

1. テストサンプルに直接送風が当たるのを避けたい場合 AL又はCU製保護カバー(冶具)を被せ、主に熱伝導で テストサンプルを加熱、冷却する必要がある場合

AL製保護カバー



AL製保護カバーの例



3D-CAD:大型恒温槽. STEP

棚サイズ

注. 熱伝導率Upのため、棚と冶具(保護カバー付棚)を 一体で交換する場合もある

3. 測定機器

No.	機器名〔型番〕	数量	記事
1	DAQ [NI cDAQ-9174 or 9178] 熱電対入力モジュール [NI 9213]	1 4or8	4or8スロット(NI社製) 16ch(24bit)/モジュール
2	熱電対(測定用) [K型(+クロメル、-アルメル)]	必要数	使用温度範囲 -200℃~1000℃
3	熱電対(制御用) [T型(+銅、ーコンスタンタン]	1	使用温度範囲 -200℃~300℃
4	温度、電圧、真空度計測ソフト ファイル名 logger_muse_test_ver1.vi	1	Labview(NI社製) PC PW:77K
5	酸素モニター [OXYGEN MONITOR OX-500]	1	(RIKEN KEIKI社製)
6	デジタル温度計 [Digitron 2000T]	1	熱電対:K型
7	ミニチュアコネクタ	必要数	熱電対:K型
8	熱電対ケーブル [RS 236-3820]	必要量	熱電対:K型 25m/リール

3. 測定機器

